

【Cブロック授業研究会】

参加者：鳥取市19名 八頭郡1名 岩美郡1名

指導助言：鳥取市教育センター 谷口 聡 指導主事



○協議の柱

「子供たちが主体的に課題解決に取り組めるようになることを目指した授業として、本授業での教師の手立てはどうであったか？」

○成果

- ・「食事・睡眠・運動」の中から自分の課題を選ぶことで、主体的に課題に取り組むことができた。
- ・教室を3つに分け、それぞれG Tが子供に説明をするという形がよかった。
- ・かなり専門的なことまで話が及んでおり、子供たちも意欲を持って取り組んでいた。
- ・事前に自身の健康課題について考えさせておくことで、スムーズに学習に入ることができた。
- ・子供の言葉で課題が構成されていた。

○課題

- ・それぞれが得た知識を共有する時間があまり取れなかった。
- ・G Tの話を聞いている時間が長かった。伝えることを抑えて、子供たちから質問させてもよかった。
- ・今できていないことに目を向けさせるだけでなく、できていることに価値付けをすることも大切である。
- ・すくすく宣言をどう使うか。家庭と連携もしていきたい。
- ・子供の思考をゆさぶる問いかけをすることもよい。
- ・教科書の効果的な活用を検討すれば、導入の時間短縮も図られ、学習の足跡としても振り返ることもできる。中心活動に十分な時間を充てられる。